

まちづくり瓦版

～うつくしま、まちづくり推進レポート～

Vol.88 令和6年1月10日発行

ふくしまインフラツーリズム推進事業 令和5年度 第3回モニターツアー



福島県土木部では、インフラ施設を観光資源として活用する「インフラツーリズム」に取り組んでいます。令和4年度に県の重点事業としてスタートし、福島市西部地域でのモニターツアーやモデルコース造成、そして3月にはポータルサイトを開設しました。

令和5年度は県内全域に取組を拡大し、各地域ならではのモデルコースを造成するため、浜通り・会津地方を中心にモニターツアーを計4回開催しています。

今回は、令和5年度の第3回目となるモニターツアー（相双）の様子をご紹介します！

【実施日】

令和5年10月14日（土）～15日（日）

【場 所】

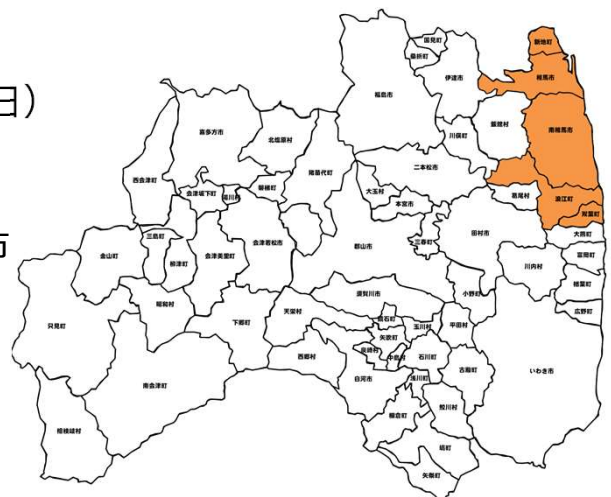
浪江町、双葉町、南相馬市、新地町、相馬市

【参加者】

県内外の10代から60代までの10名

（男性5名、女性5名、内お子様3名）

県のホームページ、JTBのメルマガにより、一般のモニター参加者を募集しました。



【概要・行程表】

10月14日（土）

- 11:30 浪江駅（発）
- 11:40～13:00 道の駅なみえ 昼食
- 13:10～14:30 復興記念公園
東日本大震災・原子力災害伝承館見学
- 15:00～16:00 南相馬市博物館見学
- 16:30 ホテル丸屋グランデ（泊）



10月15日（日）

- 09:00 ホテル丸屋グランデ（発）
- 10:00～11:30 相馬港・相馬LNG基地見学
- 11:40～13:00 浜の駅 松川浦 昼食・買い物
- 13:10～13:40 相馬駅、原ノ町駅（着）



①東日本大震災・原子力災害伝承館見学

東日本大震災・原子力災害伝承館は双葉町にある県立の施設で、2020（令和2）年9月20日に開館しました。福島で起きた地震、津波、東京電力福島第一原発事故という未曾有の複合災害の実態や、復興に向けた歩みを展示するとともに、被災した住民による語り部講話を1日4回実施しています。館内の見学をとおして、災害の記録や教訓・復興の過程を学ぶことができました。



◀ 伝承館館内見学
フィールドパートナーの方から、震災の影響や町の復興の状況についてお話をいただきました。



伝承館屋外展示 ▶
津波被害によりほとんど原型をとどめていない消防車



▲ 双葉町産業交流センター

令和2年10月に開館し、貸会議室や貸事務所のほか、フードコートやレストラン、土産物店等の商業施設が入る複合施設となっており、地域へ来訪される方、町内に立地する企業関係者の方の幅広い方々が交流する拠点とされています。屋上デッキからは双葉町内や復興祈念公園が一望できます。

🗨️ 参加者の声

- ・ 2011年に起こったあの時のことが蘇りました。子供達にも何度か聞かせてはいたけれど、実際に被災地に来て見せて、聞かせる事が出来たことはショックは受けていましたが大きな経験になりました。
- ・ 町の様子など詳しく説明していただき、震災の日から今までどのように時間が流れたのか改めて考えました。
- ・ 実際に被災された方のお話は聴き応えがありました。ご本人もやり甲斐を感じていらっしゃるようでしたので地域の発展の為に今後のご活躍も期待したいと思います。

②相馬港・相馬LNG基地見学

相馬港は、福島県北東部にある相馬市と新地町にまたがる沿岸に建設された工業開発型の港です。相馬港は背後に立地する発電所等の燃料輸入港として、またコンテナや工業原材料やリサイクル貨物などの物流拠点として重要性を増してきていることから、災害に強い港づくりを進めています。

相馬港には、相馬LNG基地があり、国内外から輸送されてきたLNGを受け入れ、貯蔵し、需要に応じて再ガス化し、パイプラインで出荷することで、天然ガス供給の量的拡大や安定性に貢献する拠点となっています。



参加者の声

- ・ 見学する前までは全く知らない分野でしたが、大変に興味深く、改めて勉強してみたいと思える見学でした。
- ・ 専門的な話からこの場所の重要度、現在のエネルギー事情など生の声が興味深かったです。
- ・ 知識のないものでも大変に分かりやすい説明でした。環境、エネルギーについて関心を持つ大きな機会をいただけたと感じました。
- ・ 大人は理解を深めることができましたと思います。小学生には少し難しい内容かと感じました。
- ・ 私も子供も大変に興味を持ちましたので、親子で学べる内容を押し出してみてもたくさんの方の目に留まるのかなと思いました。

④モニターツアー全体について（参加者アンケートの声）

- ・モニターツアーとして県の施策なので、最初の方はこうした取り組みを続けながらより良いツアーや自由旅行でも行けるようなアクセスや交通インフラなど改善を進めて誰でも行きやすい環境作りをしてほしいです。
- ・学べるツアーとして、とても充実した2日間でした。見学、食事、買い物全てに親子で楽しむ事が出来ました。
- ・宮城や岩手の沿岸地域は何度も訪れていますが、福島浜通りにはあまり訪れる機会がありませんでした。今回のツアーに参加させていただき、被害や復興の様子を見ることができてとてもよかったですと思います。多くの人に参加して見ていただきたいと思います。

📌 今後、ご紹介するモニターツアー

- ・第4回モニターツアー（会津） 令和5年10月28日、29日

📝 編集後記 📝

今回は相双地域の復興を学ぶ「ホープツーリズム」との連携も模索しながらのモニターツアーとなりましたが、参加者のなかには重めの印象を受けた方もいたことから、復興（震災・原発事故）というテーマと観光（楽しさ・遊び）をまとめて扱うことの難しさを感じました。

また、「軽い気持ちで参加したが、震災復興のお話や施設をめぐり、双相地域にまた来たいと思うきっかけになった」「伝承館などは時間が足りなかった、もっとゆっくりガイドの話を聞いたり見学したりしたかった」という声もあったことから、旅行の目的やニーズに応えられるよう行程や移動時間なども考慮しながら、今後のモデルコース造成や誘客プロモーションに繋げていきたいと思いました。

今回のアンケート結果などを踏まえ、引き続き、県内のインフラツーリズムの推進に取り組んでまいりますので、インフラ施設を活用したい取組や連携したいイベントなどがございましたら、ぜひ当課までお問い合わせください。

モニターツアーの様子や県内のインフラ施設については、こちらのポータルサイトで紹介していますので、ぜひご覧ください！



ふくしまインフラツーリズムポータルサイト
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/infra/>

【まちづくり瓦版発行元】

福島県土木部まちづくり推進課

○TEL 024-521-7511

○FAX 024-521-7956

○e-mail

machizukuri@pref.fukushima.lg.jp

○URL

<http://www.pref.fukushima.jp/machi/>